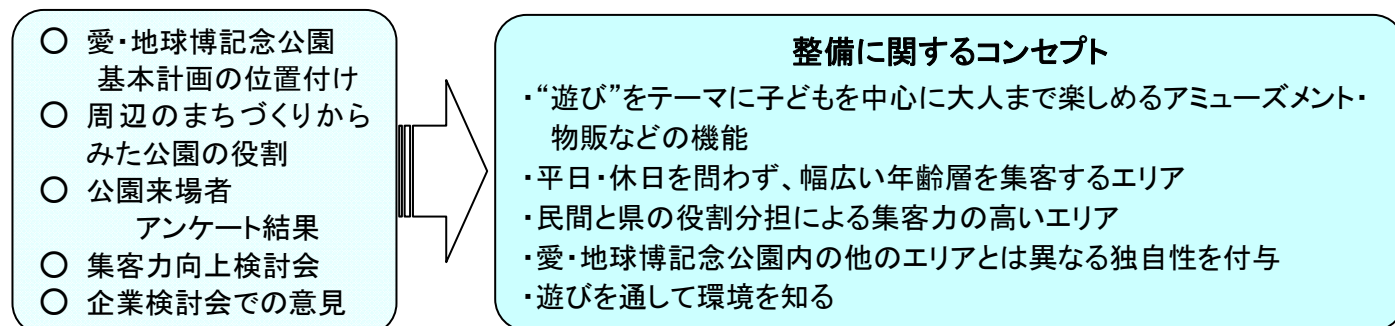


こどものひろば(愛・地球博記念公園 愛称:モリコロパーク 内)整備の基本的考え方について(概要版)

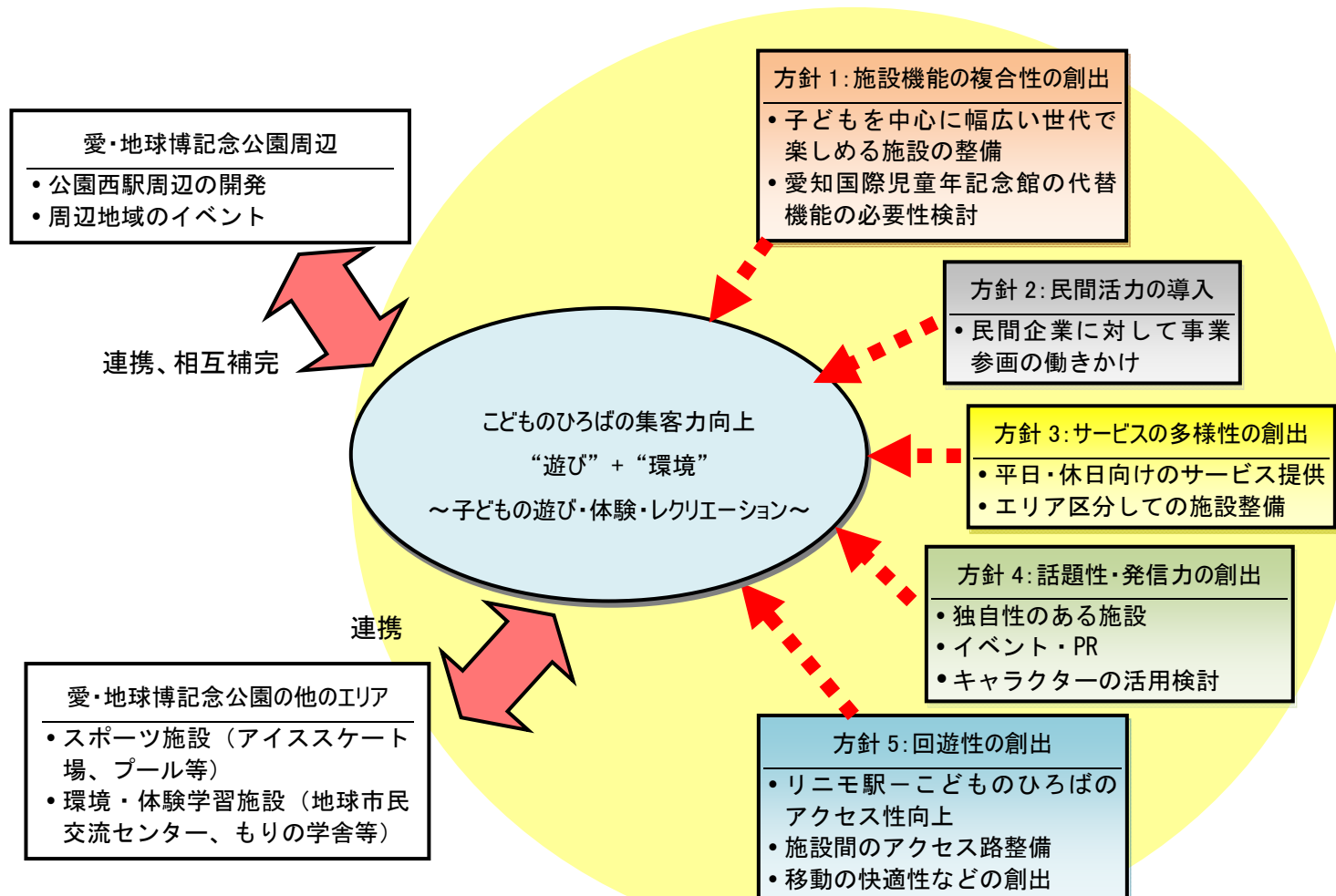
策定の必要性

愛・地球博記念公園の基本計画で位置づけられている「こどものひろば」は、リニモの公園西駅周辺や地元による新たな開発が検討されている地域に隣接し、国際児童館が廃止されるなど、平成18年度の基本計画策定以降、状況が大きく変化し、エリアの重要性がますます増している。このため、基本的考え方を策定することにより、公園のプレゼンスを高め、民間企業の公園参画への誘導を図り、公園集客機能の充実・強化、幅広い情報の発信、リニモの利用促進等につなげていく。

【1 こどものひろば整備に関するコンセプトの設定】

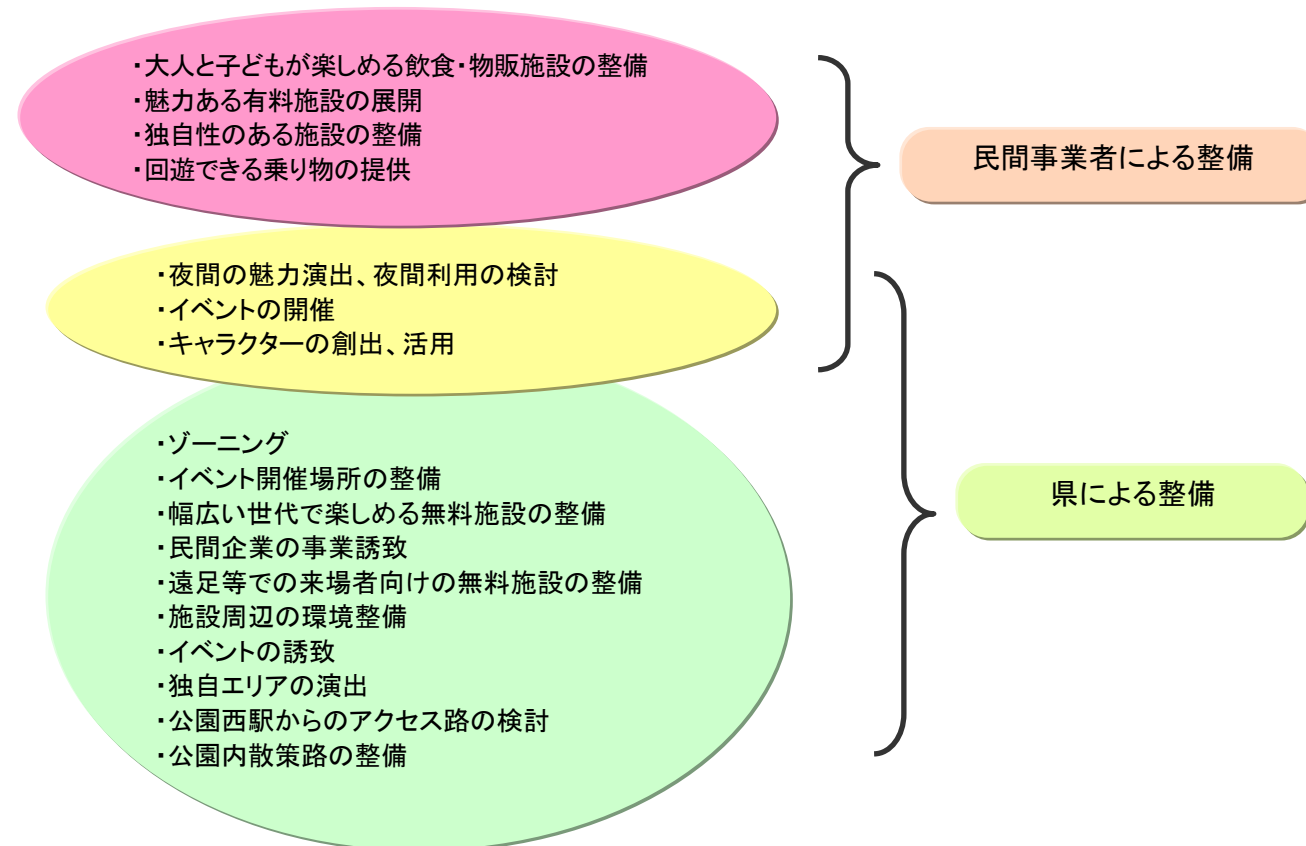


【2 こどものひろばの整備方針と他の集客施設及び周辺地域との関係】



【3 今後の集客力向上に向けた役割分担】

多くの事業主体による整備が想定されるが、そうした場合、施設整備方針・デザインから管理・運営にいたるまで、エリア全体の統一性の確保が必要となることから、その全体プロデュースは、県が担う。



【4 整備スケジュール(想定)】

主体	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
民間事業者	投資判断	調	基本設計	集客施設の段階的整備
県	整	実施設計	段階的整備	
連携	イベントの企画・検討		イベントの開催・継続	

【5 整備イメージ】

【アトラクションエリア】
 爽快感、ワクワク感が楽しめる乗り物遊戯空間の整備

- ・既存の大観覧車をはじめとする様々なモビリティアトラクションの設置
- ・こどもから大人までが楽しめる空間としての施設の拡充
- ・夜間利用の検討
- ・未来型乗り物・面白乗り物の乗車体験
 (展開例)
 フライトアトラクション、巨大カード迷路、バーチャル昆虫採集、ボール落しライド、水風船アトラクション、大型複合遊具(巨大滑り台等)、省エネカー等の体験コース等

【飲食・物販エリア】
 飲食施設や休憩所の充実を図る

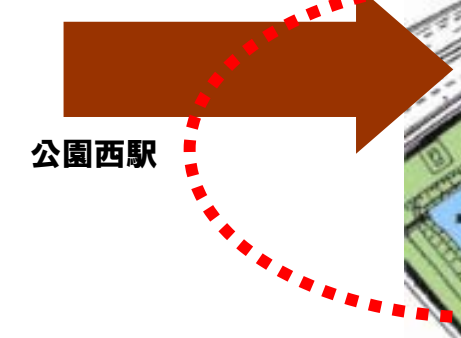
- ・地元の飲食店等による臨時店舗の導入で休日に対応
- ・子どもに同伴する保護者が楽しめる場の提供
 (展開例)
 産直市場、地元臨時店舗の誘致

【屋内型遊びのエリア】
 既存施設児童総合センターとの連携強化

- ・屋内施設と屋外施設の使い分けによる幅広い遊び場の提供

愛・地球博記念公園駅—こどものひろば間のアクセス向上

- ・広い園内を楽しみながら移動できる乗り物の導入(電動カート等)
- ・樹木の植栽による緑陰のある歩道の整備
- ・連続して人を引きつける施設の設置



【西エントランスエリア】
 公園西駅—こどものひろば間のアクセス向上

- ・周辺まちづくりの中でのアプローチの検討
- ・広い園内を楽しみながら移動できる乗り物の検討
 (展開例)
 新たなゲートの整備、電動カート等の導入
 階段、デッキ、動く歩道、エスカレーター等の整備

【自然を活用した遊びのエリア】
 自然を活用したアクティビティ空間の提供

- ・既存施設(自然体感遊具)との連携
- ・現有の樹木を利用した本格的な自然体験型施設の整備
- ・斜面を利用した遊具の整備
 (展開例)
 フォレストアドベンチャー、巨大滑り台、アスレチック等

【交流エリア】
 多彩なイベントが楽しめる全天候型の広場の提供

- ・雨天時に雨宿りのできる場所として提供
- ・子どもから大人までが楽しむことのできるイベントの開催場所の確保
- ・ピクニック広場としての確保
 (展開例)
 モリゾー・キッコロ等キャラクターを活用したイベントの定期的開催、ポップカルチャーイベント等

【凡例】

青枠：アクセス系の整備

赤枠：施設系の整備

楽しみながら歩くことのできる散策道の整備

- ・シンボル性のある樹木の植栽
- ・緑陰のある散策道の整備
- ・花による演出、ベンチの設置
- ・園路の再整備と、沿道での雰囲気づくり

